

《高品質生乳・自給飼料生産拡大プロジェクト》

市町村	上山市	対象地域	上山市全域	分野	畜産（酪農）
実施主体名	上山南・蔵王酪農組合	代表者氏名	代表 小玉 茂	住所又は主たる事務所の所在地・連絡先	上山市榎下1398
実施主体構成	構成員 10人				

プロジェクト目標（5年後）	産出額（増加額）	384,623千円（46,624千円）					
	独自の目標項目	<ul style="list-style-type: none"> ・自給粗飼料拡大 WCS 10ha 稲ワラ収集50ha ・生乳生産量増加 3,618t（434t増） ・水田由来温室効果ガス削減 2.4t削減） 					
各年次目標	現 状	1年目（H21）	2年目（H22）	3年目（H23）	4年目（H24）	最終年（H25）	
	産出額	337,999千円	348,063千円	382,741千円	384,623千円	384,623千円	
	独自の目標項目	自給粗飼料拡大	牧草 2ha・ 稲ワラ 37ha	WCS 5ha・ 稲ワラ 45ha	WCS 10ha・ 稲ワラ 50ha	WCS 10ha・ 稲ワラ 50ha	WCS 10ha・ 稲ワラ 50ha
		生乳生産量	3,260t	3,597t	3,618t	3,618t	3,618t
	水田由来温室効果ガス削減	1.8t（37ha）	2.2t（45ha）	2.4t（50ha）	2.4t（50ha）	2.4t（50ha）	
プロジェクト概要	◎実施方針	即戦力たる初妊牛を導入し搾乳量の増加、2産目から雌雄判別精液を活用し、後継牛の増頭と高能力牛群を構築し高品質生乳の確保を図る。また、飼料作物の作付けを拡大し、飼料自給率の向上（2%）と転作所得の増加（10a当り2万円増）を図る。さらに、経営の安定から、後継者の新規就農、大規模経営体及びホールクロップサイレージを作るに当たり新規の雇用創出を図る。					
	○産出額の増大	生乳41.7百万円・子牛4.9百万円・飼料作物2百万円（10a当り2万×10ha）合計48.6百万円					
	○雇用の創出	経営安定化による後継者の就農、大規模経営体（酪農）での新規雇用創出 ホールクロップサイレージを作るに当たり、機械オペレーター延べ60人（2人×30日）の雇用創出が可能となる。H25:年間雇用創出効果（増加分） 60人日/年					
	○創意工夫	粗飼料自給率の向上、雌雄判別精液と和牛受精卵移植の活用、水田由来温室効果ガスの削減、未利用資源（稲ワラ）の利用拡大、WCS（稲発酵粗飼料）の新規作付					
	○実現性	組合員が現状への危機感を強く感じており、当事業の確実な実施が見込まれる。					
	○地域への波及効果	堆肥の圃場還元による循環農業の実現					

計事業		実施年度（平成21年度）	実施年度（平成22年度）
	事業内容	初妊牛 34頭の導入	初妊牛 28頭の導入